

ノーリフティングケアを見直そう

～下手でもいい、やることが大事！ つまずいたら原点に帰ろう！～



社会福祉法人 飯塚市社会福祉協議会
特別養護老人ホーム 筑穂桜の園
(ちくほさくらのその)

抱え上げない介護の取組みを振り返って

～開設時から福祉用具を整備 その1～

平成17年度 施設開設

5月 浴室リフト
1台 設置
天井走行型



平成24年度

5月 浴室リフト 1台 追加
ご利用者の重度化に対応するため増設

平成25年度

4月 施設内で研修本格的開始
開設時から揃えてきたボード・グ
ローブ・シートを使い始める

福岡県立大学福祉用具研究会に入会し、福祉用具の使い方研修会に参加。
リフトやボード、シートの使い方等を受講。少しずつ職場に広めた。



抱え上げない介護の取組みを振り返って

～開設時から福祉用具を整備 その2～

平成27年度

6月 ノーリフティングケアへの取組み開始
「介護は抱えることが仕事でしょう！」と言われた一言に涙を飲んだことも…理解してもらうためにはやらなくては…



1台目の床走行リフトの導入

ユニットケア委員会で「抱え上げない介護」について事例検討を行いながら実践。
リフト使い方研修に参加

令和元年度

4月 介護の 楽 を知る

一人のご入居者への使用が成功すると次のご入居者を選択することも直ぐに決定し、車いす⇄ベッド移乗等がとても楽に行えるようになった

床から吊り上げられるタイプ



令和元年 2台目リフトを導入

抱え上げない介護の取組みを振り返って

～開設時から福祉用具を整備 その3～

令和2年度

4月 1台目のスタンディングリフトの導入
「下手でもいい、とにかく使ってみよう！」の精神で。

- ・デモ機を借りて使い比べ (操作性、メンテナンス性、価格など)
- ・ご利用者のアセスメント
- ・職員は不安を抱えながらも興味津々

念願のスタンディングリフト第1号



令和3年度

5月 よいよ独自で
「ノーリフティングケア委員会」の立ち上げ
2台目のスタンディングリフト

- ・動画配信 内部研修 事例検討
- ・スライディングボードやシートを積極的に使用(抱え上げない)
- ・腰痛愁訴者が減少傾向
- ・所外研修会に積極的参加

抱え上げない介護の取組みを振り返って
～開設時から福祉用具を整備 その4～

令和4年度

4月

「使い慣れ」で決めた3台目

- ・3ユニットに各1台ずつのスタンディングリフトを配置
- ・「使い慣れ」「メンテナンス性」を考慮して同一機種を選定。
- ・願いかなって、
「さあー、どんどん使っていくぞー！」

下手でもいいので、まずはやること。
でも、ご利用者はきつそうかな？
安楽に使用してもらう方法を模索中！



がむしゃらな自己流の腰痛対策ケアに持続性はあるか？

令和5年度

見よう見まねの独学でも腰痛解消は進んでいたが、これでいいのか？ 維持・継続のためのマネジメントが不安に！

原点に戻ってゼロからの学びを決意。

6

正しいノーリフティングケアを学ぶために 普及促進事業へ申し込みを行う。



頑張ろう！
おお～

施設長がユニット会議でモデル事業についての説明を行う。

技術の習得

～基本動作から学び直し～
(独学との違いに戸惑いと気付き)



戸惑い

- ①研修のマットより柔らかいマット
- ②手技が異なるボディメカニクスとノーリフティングの差
- ③細かな技術指導の理解が難しい
- ④自己流が定着してしまった。
- ⑤研修で習った実技を職場の皆に教えることが難しい。



気付き

- ①誤った手技の危険性の再認識
- ②自分たちが楽になっているがご利用者は安楽を感じているか。

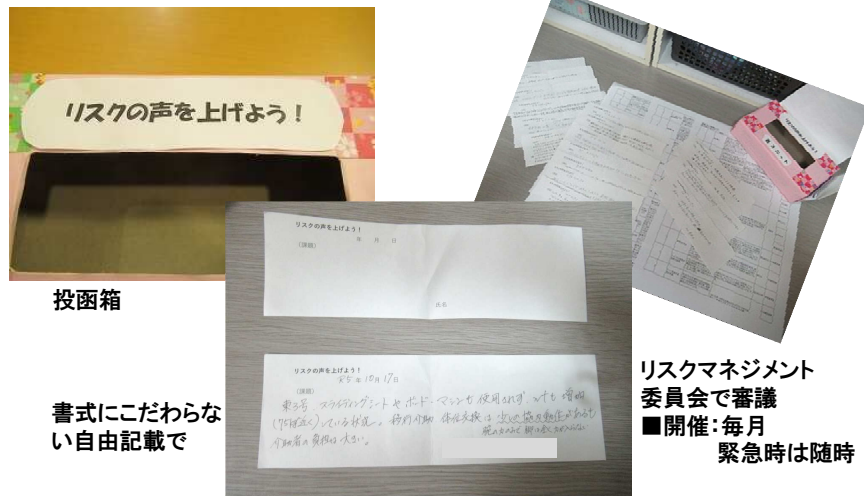
みんな必死に学んでいます。現在 80%合格。

マネジメント

取り組み前と後の出来ている事 比較

	取り組みを始める前 (独自でやっていた頃)	取り組みを始めた後 (現在)
①委員会	ノーリフティングケア委員会	ノーリフティングケア委員会
②リスクマネジメント	ヒヤリハット委員会 ⇒ リスクマネジメント委員会へ移行	リスクマネジメント委員会 「リスクの声」箱の設置
③健康管理	就業前体操	就業前体操 腰痛調査実施
④個別アセスメント	PDCAサイクル用いてない	PDCAサイクル途中 優先順位
⑤人材育成 技術教育	独自で研修 動画を所内配信	基本動作80% 福祉用具使い方途中
⑥環境・福祉用具	福祉用具在庫管理 活用マニュアル一部作成	福祉用具の保守管理へ拡大 活用マニュアル見直し

リスクマネジメント ヒヤリハット 課題の抽出



1回目は30件のリスクの抽出ができた。
委員会で優先順位をつけ、その中でも、できることから取り組み中。

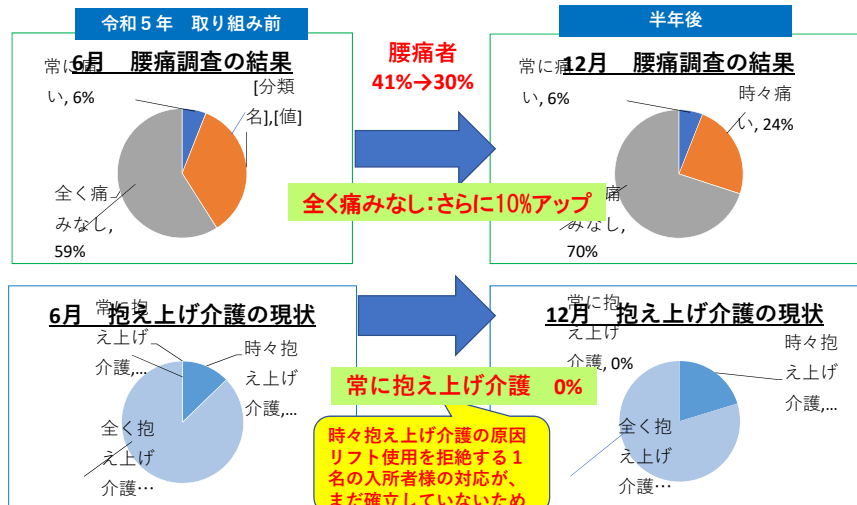
福祉用具を整理整頓 ~イラスト化(ピクトグラム)~

小物用具のピクトグラムは自施設の用具に合わせて内作すれば、皆が分かり易い。
(車いす関連のピクトグラムは、たくさん提案されている。)



令和5年度 腰痛調査及び抱え上げ介護の実情

当施設は平成17年開設。当初から少しずつ福祉用具の整備を図ってきた。特に、平成25年度からユニット会議や全体会議の中で本格的に福祉用具の研修に取り組実践してきた結果が、今回のアンケートの結果に反映されていると実感！



最後に・・・

これまでの取り組み

- ①開設当初からの支援者より「ノーリフティングケア普及促進事業への参加」の声掛けがあったが、業務多忙で参加に踏み切れず。
- ②当施設では、福祉用具を多用して抱え上げない介護を実践しており、腰痛者も殆どいないので必要ないだろうと考えていた。
- ③しかし、これまでは持続性の低い自己流の取り組みであり、この機会に「基礎からの学び直しをすべき」と考え、参加に踏み切った。
- ④その結果、技術面については、それまでの研修会等で学んだ技術とは、大きく異なり戸惑いを感じ、改めて学び直しの必要性を痛感した。
- ⑤マネジメントの体制作りは順調には進んでいない。

今後の取組み

- ①自己流介護技術の修正・強化
- ②当施設ができていないマネジメントの確立